

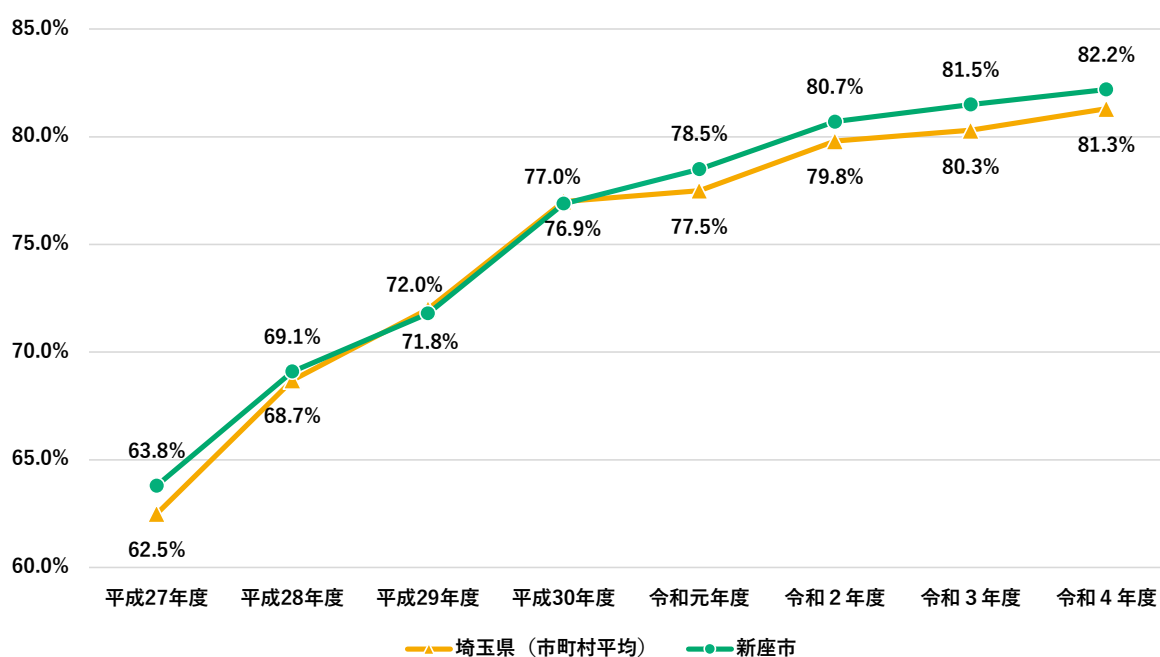
## 第5章 その他の保健事業

### 5. 1. 医療費適正化事業

#### 5. 1. 1. ジェネリック医薬品（後発医薬品）シェア率

ジェネリック医薬品シェア率は、年々上昇しており、厚生労働省及び県が目標として掲げる80%に到達しています。国のシェア率は、令和5年3月時点で80.9%となっており、これも上回っている状況です。

図表：ジェネリック医薬品シェア率の推移



資料：埼玉県国民健康保険団体連合会

## 5. 1. 2. 重複受診の状況

令和4年度における重複受診の状況を下記に示しました。

3か月連続で重複受診している人数が最も多い疾病は「睡眠障害」で、受診者全体の0.2%にあたる11人が重複受診となっています。その他の疾病も含めて、延べ66人が3か月連続で重複受診となっています。

1か月でみた場合には、重複受診の患者数が最も多い疾患は「本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）」で51人です。次いで多いのは、「胃炎及び十二指腸炎」、「睡眠障害」の順になっています。1か月でみた場合の重複受診の割合が最も多い疾患は、「睡眠障害」で0.8%、次いで「その他の腸の機能障害」となっています。

### 重複受診

医科外来で、同一疾病コード（ICD10コード3桁の一致）のレセプトが3医療機関以上かつ3か月連続で発生していることを指す。

図表：重複受診の状況

(人)

順位	中分類名 (ICD10)	疾病全体 人数	重複受診		重複受診（1か月のみ）	
			人数	割合	人数	割合
1	睡眠障害	4,736	11	0.2%	39	0.8%
2	胃炎及び十二指腸炎	7,286	8	0.1%	46	0.6%
3	本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	9,799	5	0.1%	51	0.5%
4	その他の腸の機能障害	4,453	3	0.1%	30	0.7%
5	血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	9,079	2	0.0%	35	0.4%
6	リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	8,648	2	0.0%	25	0.3%
7	膝関節症 [膝の関節症]	2,148	2	0.1%	12	0.6%
8	骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>、病的骨折を伴わないもの	2,583	2	0.1%	11	0.4%
9	うつ病エピソード	1,879	2	0.1%	7	0.4%
10	その他の多発（性）ニューロパチ<シ>ー	2,460	2	0.1%	6	0.2%
11位以降		240,224	27	0.0%	445	0.2%
合計(延べ人数)		293,295	66	0.0%	707	0.2%

資料：令和4年4月～令和5年3月診療分 レセプトデータ（医科、調剤）※主病を集計

※1年間の中で1度でも3か月連続、または1か月のみ該当となった場合を抽出。

### 5. 1. 3. 頻回受診の状況

令和4年度における頻回受診の状況を下記に示しました。

3か月連続で頻回受診している人数が最も多い疾病は「脊椎症」、「膝関節症」、「睡眠障害」でそれぞれ7人が頻回受診となっています。その他の疾病も含めて、延べ171人が3か月連続で頻回受診となっています。

1か月でみた場合には、頻回受診の患者数が最も多い疾患は、「胃炎及び十二指腸炎」の27人で、次いで「脊椎症」になっています。1か月でみた場合の頻回受診割合が最も多いのは、「部位不明の損傷」で1.1%です。次いで多いのは「その他の脊椎障害」となっています。

#### 頻回受診

医科外来で、同一月に、1医療機関以上で15日以上受診が3か月連続で発生していることを指す。※人工透析、リハビリを除く。

図表：頻回受診の状況

(人)

順位	中分類名 (ICD10)	疾病全体 人数	頻回受診		頻回受診（1か月のみ）	
			人数	割合	人数	割合
1	脊椎症	2,739	7	0.3%	23	0.8%
2	膝関節症 [膝の関節症]	2,136	7	0.3%	18	0.8%
3	睡眠障害	4,702	7	0.1%	16	0.3%
4	胃炎及び十二指腸炎	7,247	6	0.1%	27	0.4%
5	その他の脊椎障害	1,389	6	0.4%	12	0.9%
6	骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>、病的骨折を伴わないもの	2,509	5	0.2%	18	0.7%
7	その他の腸の機能障害	4,389	5	0.1%	16	0.4%
8	本態性（原発性<一次性>）高血圧（症）	9,708	5	0.1%	10	0.1%
9	部位不明の損傷	1,668	4	0.2%	18	1.1%
10	背部痛	4,410	4	0.1%	17	0.4%
11位以降		249,316	115	0.0%	470	0.2%
合計(延べ人数)		290,213	171	0.1%	645	0.2%

資料：令和4年4月～令和5年3月診療分 レセプトデータ（医科、調剤）※主病を集計

※1年間の中で1度でも3か月連続、または1か月のみ該当となった場合を抽出。

## 5. 1. 4. 重複服薬の状況

令和4年度における重複服薬の状況を下記に示しました。

3か月連続で重複服薬している人数が最も多い薬剤は「催眠鎮静剤、抗不安剤」で18人、次いで「精神神経用剤」が13人となっています。その他の薬剤も含めて、延べ51人が3か月連続で重複服薬となっています。

1か月でみた場合には、重複服薬の患者数が最も多い薬剤は、「解熱鎮痛消炎剤」で225人です。次いで多いのは、「去痰剤」、「消化性潰瘍用剤」となっています。1か月でみた場合の重複割合が最も多い薬剤は、「去痰剤」で12.0%です。次いで多いのは、「止血剤」、「解熱鎮痛消炎剤」の順になっています。

### 重複服薬

医科外来において院内・院外で処方された内服薬について、同一月に同一成分の医薬品（※）が、2医療機関以上で処方され、3か月連続で処方されていることを指す。

※ ひと月当たり成分ごとの合計処方日数が14日以上 of 医薬品のみを集計対象とする。

※ 「生薬製剤」、「治療を目的としない医薬品」、「麻薬」を除く。

図表：重複服薬の状況

(人)

順位	薬効分類		長期服薬 者数	重複服薬		重複服薬（1か月のみ）	
	コード	名称		人数	割合	人数	割合
1	112	催眠鎮静剤、抗不安剤	3,038	18	0.6%	123	4.0%
2	117	精神神経用剤	2,831	13	0.5%	83	2.9%
3	223	去痰剤	1,711	4	0.2%	205	12.0%
4	232	消化性潰瘍用剤	7,484	4	0.1%	204	2.7%
5	114	解熱鎮痛消炎剤	4,086	2	0.0%	225	5.5%
6	332	止血剤	594	2	0.3%	54	9.1%
7	119	その他の中枢神経系用薬	1,914	1	0.1%	57	3.0%
8	231	止瀉剤、整腸剤	1,684	1	0.1%	44	2.6%
9	234	制酸剤	1,829	1	0.1%	42	2.3%
10	218	高脂血症用剤	6,346	1	0.0%	33	0.5%
11位以降			49,061	4	0.0%	727	1.5%
合計(延べ人数)			80,578	51	0.1%	1,797	2.2%

資料：令和4年4月～令和5年3月診療分 レセプトデータ（医科、調剤）※主病を集計

※1年間の中で1度でも3か月連続、または1か月のみ該当となった場合を抽出。

## 5. 1. 5. 多剤服薬の状況

令和4年度における多剤服薬の状況を下記に示しました。

6剤以上の服薬者数は5,017人で全体の23.3%です。多剤服薬は40代以降増えていき、最も多いのは70歳以上となっています。3か月連続での多剤服薬者数は、延べ12,037人です。

3か連続での多剤服薬者数が最も多い薬剤は「消化性潰瘍用剤」の1,050人で、1か月でみた場合にも3,251人で最も多くなっています。3か月連続の人数では、次いで「血圧降下剤」、「高脂血症用剤」が多くなっています。3か月連続での多剤服薬者の割合が最も多いのは「催眠鎮静剤、抗不安剤」で、次いで「精神神経用剤」となっています。

1か月でみた場合に多剤割合が最も多いのは「その他の血液・体液用薬」で63.2%です。

### 多剤服薬

医科外来において院内・院外で処方された内服薬について、同一月に6種類以上の医薬品(※)が3か月連続で処方されていることを指す。

※ ひと月当たり成分ごとの合計処方日数が14日以上 of 医薬品のみを集計対象とする。

※ 「生薬製剤」、「治療を目的としない医薬品」、「麻薬」を除く。

図表：年齢階級別多剤服薬の状況

(人)

薬剤種数	長期服薬者数				
	40歳未満	40-59歳	60-69歳	70歳以上	全体
1~5	3,569	3,859	3,684	5,367	16,479
6~8	194	700	829	1,593	3,316
9~14	54	336	426	723	1,539
15以上	7	48	42	65	162
合計	3,824	4,943	4,981	7,748	21,496

図表：薬効別多剤服薬の状況

(人)

順位	薬効分類		長期服薬者数	多剤服薬		多剤服薬(1か月のみ)	
	コード	名称		人数	割合	人数	割合
1	232	消化性潰瘍用剤	7,484	1,050	14.0%	3,251	43.4%
2	214	血圧降下剤	6,284	915	14.6%	2,661	42.3%
3	218	高脂血症用剤	6,346	905	14.3%	2,665	42.0%
4	112	催眠鎮静剤、抗不安剤	3,038	749	24.7%	1,538	50.6%
5	217	血管拡張剤	5,443	746	13.7%	2,221	40.8%
6	117	精神神経用剤	2,831	688	24.3%	1,374	48.5%
7	396	糖尿病用剤	2,917	618	21.2%	1,616	55.4%
8	339	その他の血液・体液用薬	2,185	439	20.1%	1,382	63.2%
9	449	その他のアレルギー用薬	7,604	406	5.3%	1,687	22.2%
10	119	その他の中枢神経系用薬	1,914	379	19.8%	993	51.9%
11位以降			34,532	5,142	14.9%	15,888	46.0%
合計(延べ人数)			80,578	12,037	14.9%	35,276	43.8%

資料：令和4年4月～令和5年3月診療分 レセプトデータ(医科、調剤) ※主病を集計

※1年間の中で1度でも3か月連続、または1か月のみ該当となった場合を抽出。